

## 東海支部愛知地域会 2023年度 第1回役員会 議事録

日 時 : 2023年6月16日(金) 17:00~19:00  
 場 所 : 昭和ビル5階 会議室 (名古屋市中区栄四丁目3番26号)  
 ※WEB会議を併用  
 出 席 : 森哲哉 地域会長 近藤万記子 関口啓介 高木耕一 野々川光昭 各副地域会長  
 (順不同・敬称略) 生津康広 西村和哉 会長補佐 澤村喜久夫 直前地域会長  
 川本直義 上原徹也 各室長  
 間瀬高歩 笹野直之 奥井康史 恒川和久 黒野有一郎 柳澤力 石川英樹 各委員長  
 鈴木利明 水野豊秋 両監査  
 委任状出席: 奥井康史 東福大輔 杉本憲治 吉元学  
 オブザーバー: 尾関利勝 顧問 浅井裕雄 本部理事 小玉真澄 JIA・愛知賛助会  
 欠 席 : 宮坂英司 中澤賢一  
 議 長 : 高木耕一  
 議事録作成担当委員会: 住宅研究会  
 議事録署名人: 間瀬高歩 笹野直之  
 前回議事録確認: 2022年度第12回議事録

## 議 事

## 1. 地域会長挨拶

先日の総会では山田副支長、佐藤会長にもご出席いただき、大会に向けて良い流れとなったと思う。今年度は通常の事業に加えて全国大会や役員交代に向けての準備もあるので協力をお願いしたい。また、資格制度について会員集会が予定されており、本日役員会の後、打合せを行うため時間内終了のご協力をお願いしたい。(森)

## 2. 報告事項

## (1) 本部報告

## ① 第303回理事会(5/30)

資料-1

・オブザーバーとして参加したが浅井さんが欠席のため代わりに報告する。資料については事務局からメール配信していただくので詳しくはそちらを確認していただきたい。

審議事項(すべて承認)

## ・入退会承認の件

5/30時点での正会員数3254名。法人協力会員の愛知については(株)エフワンエヌさんと(株)ノザワさんが退会。佐藤会長からもビッグネームといえる会社が退会することについて心配する声があった。

## ・2023年度通常総会開催及び議案承認の件

この議案は承認済。

23日に総会を控えている。メールやファックスでもいいので、ぜひ書面評決あるいは委任状の提出をお願いしたい。

## ・特定費用準備金及び資産取得資金の取崩し積立承認の件

コロナ禍で思うように活動ができていないこともあり、以前にも話に出た積立金や各地域会支部からもどういったものを積み立てるのか報告していると思うが、2023年3月決算で数字が出たので報告する。3月決算の取崩し額が1980万円あまり。うち、大会イベント開催特定費用準備資金が900万円積立ってあったが、沖縄大会にて公益会計で足りなかった分600万余円を本部から出している。残り300万円は全国大会のある東海支部に回せるのではないかという話が出ているが内訳は不明。積立金合計2900万円については大会イベント開催の準備資金や公益情報データ作成の準備資金、情報システム改良のために積立てることで承認されている。

## ・支部規約の改正

支部運営に必要な事項については理事会の決議を経るというルールになっており、それぞれ関東甲信越、四国支部より今回、学生会員の扱いが準会員から協力会員に変更になったため、そ

れに伴う規約等の改正案が出され承認されている。合わせて申込書等の様式についても承認されている。

・2023 年度委員会構成案承認の件

東海支部愛知の関係分について口頭にて報告をする。

職能・資格制度委員会：杉本憲治さん、財務委員会：水野豊秋さん、オブザーバー：鈴木利明さん、総務委員会・総務委員会 WG：知財 WG：澤村喜久夫さん、広報委員会：三重の出口基樹さん、教育委員会：吉元学さん、国際委員会：ジュニア会員である早矢仕耕平さん、CPD 評議会：静岡の石橋剛さん。建築家資格制度実務委員会：宮坂英司さん、オブザーバー：野々川光昭さん。オンライン/リモート対応や環境整備に特化した特別委員会：三重の奥野美樹さん、JIA 環境会議：静岡の石橋剛さん、その中のワーキンググループとして伝統的工法の住まい：宇野勇治さん、JIA 保存再生会議：中澤賢一さん、JIA まちづくり会議：黒野有一郎さん、JIA 災害対策会議：三重の奥野美樹さん、JIA 建築相談連携会議：柳澤力さん、JIA 住宅等連携会議：西村和哉さん（議長）、委員：吉元学さん、新設置ワーキンググループの中で業務改善・コンペプロポ推進：吉元学さん、新設置小規模事務所の BIM 推進：横関浩さんと山上健さん。

協議事項

- ・懲戒処分決定に係る事業活動の見直しについて、マガジンには 5/19 付で正会員の懲戒処分についてという記事で掲載されている。内容は奈良地域会の上嶋会員が懲戒請求に際して 5/19 開催の理事会は懲戒審査委員会による審査報告を受理、懲戒規定に基づいた退会勧告という懲戒処分を決定した。会員が関わっていた JIA の文化財修復塾の運営について見直しということで提案があった。JIA 文化財修復塾は東日本大震災後、文化財の救援活動として文化庁が提言した文化財ドクター派遣事業の参加資格として JIA が講座を開設したものの。2015 年より始動しているが、運営のルール（規定）の見直しについて協議事項として提案があった。

報告事項

・JIA 建築家大会 2023 の件

浅井さんより当日撮影したビデオを上映していただき PR をした。

・正会員資格に関する専門性について

沖縄支部より本部へ照会があり、沖縄支部会員でセルフビルド業務をされている方の会員資格について本部へ問い合わせをした。正会員に関する専門性ということで話し合い、方向性としては施工実態がある場合は専門とはいえず、個人協力会員として活動していただくことを原則とするとの回答をした。今後は会社の定款上への建築工事の記載や建設業許可の取得があっても施工実態がない場合、または施工規模が極めて軽微な場合、その他専門性の確認に至らない場合は、総務委員会において支部へのヒアリング等やその他の方法で確認し、理事会が専門の如何を判断することとなった。

・佐藤会長から建築家 PR 動画推進ワーキンググループの報告

・JIA 住宅等連携会議の報告

・建築家資格制度改革について

5/9 付で職能・資格制度委員会、本部建築家資格制度実務委員会より様々な意見が報告された。

- ・沖縄支部より、与那原商業地区まちづくり計画という策定業務を沖縄支部が受けたということで、こういった契約について JIA は全国単一組織であるため、あくまで本部の佐藤会長の名前で契約をする。が、その都度、佐藤会長の名前でというわけにはいかないため、支部長が本部より委任を受けそれぞれ業務委託をするというルールになっている。東海支部においても昨年、西尾市と業務委託契約をしているが、その際も佐藤会長から委任状をいただいて支部長名で委託契約をした。今後もそのような手続きをしていただきたいとの報告があった。（澤村）

- ・2つのワーキンググループを立ち上げたため、ご挨拶ということで関東の林さんからご報告をいただいた。12月12日に予定されている、全国大会のキックオフにあたるシンポジウムの紹介をした。BIM 推進を進めるようにとされているが、予算がゼロのため、予算をつけていただくようお願いをした。（西村）

- ・当日、理事会開催前に国土交通省の建築指導課から課長の宿元さんと野口さんがみえ、改正建築物省エネ法・改正建築基準法の円滑な施行に向け、JIA 含む 6 つの建築関係団体が連携会議のメンバーとなり、法律の改正について円滑に施行できるよう連携会議を立ち上げたとの報告

があった。その他、BIM 活用の話や業務報酬基準の見直しを今夏を目処に取りまとめたという話があった。また確認申請等の手数料見直しを検討しているという話があった。

② 総務委員会(6/9)

資料-2

- ・先ほどの本部報告の中にあった委員会構成について、理事会が各委員会に対し、今後構成のあり方について要望書を作成提出して欲しいとのこと。正会員による構成を基本とする全国的な委員構成を心がける、任期の長期化を避けるといったこと。
  - ・入退会の審査について東海に関連するところとしては岐阜のジュニア会員2名入会、1名退会、静岡のABC商会さん退会、愛知の河原田さんの退会があった。先ほどの沖縄支部のセルフビルドに関する内容について3名が個人協力会員への転籍が承認されている。今後、M&Aにより経営者が変更になる、移籍するなどして定款等に問題が発生するといったことがあれば転籍、あるいは会社自身がそういった身になるといったことなどを各支部で要望していただきたいという話があった。
  - ・オンラインによる入会について、現在、本部の会員の所属等を記載しているシステムを作成した会社に説明を聞いた。今後検証することだが、正会員だけそういったシステムを組んでもあまりメリットがないのでは。逆に学生会員等の入会がオンラインだけでできるようになるというのは良いという話もあったりする。基本的に管理は支部になる。正会員のみが支部の上で本部が管理している。他の会員は支部のため対応できるシステムを組まなくてはならないとなるとかなりハードルが高くなる。現状のシステムの古さ、署名の扱い等が問題になっているので検証を進めていく。
    - ・23年度委員会構成ということで先ほど話があった保存再生文化財修復塾の件だが、奈良の会員が金銭面で問題のある活動をし懲戒処分になったということで新しい委員会発足。その中で九州の田島さん始め味坂さん、近畿の岡田さん、関東甲信越の笠井さんが今後事業のあり方を見直していくという話があった。
    - ・災害対策委員が1名変更。
    - ・近畿支部の松尾支部長より、長年JIA活動をしてきた方が退会される際、名誉会員、フェロー会員等はそれなりのものが送られるようになっているようだが、そうでない方にも会長名で感謝文等が出せないものかといった提案があった。細かい規定は作成しないが、支部より本部に依頼があれば本部が処理する流れとするが、今後理事会で詰めていくと思う。(水野)
- 質疑
- ・今報告のあった、前回の総会で承認された岐阜のジュニア会員2名の名前を聞きたい→河合さんと堀井さん。森本さんより、河合さんはセルフビルドをやっていないかと言われているがどう思われるか。→岐阜で承認される際、その確認を取ったのかどうか？直営なのでは？後で問題にならないうちに支部で確認していただくのが良い。

③ 職能・資格制度/建築家資格制度実務委員会(5/29)

資料-3

- ・前回の役員会では、5/11の会長はじめ理事懇談会の代表と委員会側との意見交換について報告した。継続して5/29日に委員会から会長へ提出した資料を添付している。提言で概要の最初の2点はこれまでの経緯、二会合意の際の状況、名称(建築資格ではなく技術の資格)の枠内の調整、技術要件のすり合わせをし、本質的などころは置いて協議をしていた。3点目の新資格制度を検討するのであれば前回のような協議内容の技術者資格にとどまらず、公益について社会から求められていることを取り入れるべきではないかと伝えた。最後、2制度間協議の前に相互認証からスタートしてはどうかと記載されているので目を通しておいていただきたい。
- ・2頁目3にて考えられる二会による新資格制度の構成要素として7点の説明がある。会長としてはそこまで考えていないといったところもあった。統括的な要件建築認定のところでは、士会では実績があれば内容はあまり審査されていない。現在の登録建築家の資格要件は調査から企画、設計、竣工後に至る細部の実績が必要で、それが社会に対して紹介されるべきではないかといっている。
- ・実務訓練制度はなかなか進んでいない。そもそも職能資格の確立とともに、実務訓練制度が登録建築家制度である。委員会側はオプションとして残していくべきではないかと伝えている。継続

的研修（CPD 等）について、必要科目、単位数の見直しを伝えている。

- ・新資格は、職域は問わないが依頼者保護・公益寄与の必要性を盛り込んでいる。
- ・罰則について JIA は懲罰審査委員会があり、登録建築家も登録削除や認定取り消しなどの罰則がある。倫理規定とそれに対する罰則が必要である。
- ・コンペは会長も強く進めていきたいとのこと。

今後会長と調整をして全ての内容を詰めて今後に繋げていきたい。東海支部では 8/10 16 時より会員集会を開催する予定。佐藤会長も出席して東海支部のメンバーと意見交換をする。同日に愛知役員会を暑気払いがある。これから会員へ案内をする。（野々川）

#### ◎全国大会について

各方面がオープン化してきて、全体のシンポジウム等は見えてきた。各委員会にそれぞれの企画をお願いしているが大会当日二日間は入れるところが限定的のため積極的に全ての方にやっただく気はない。ただ、焼き物の散歩道については展開していきたいので、どこかの委員会をお願いしたいと考えている。10 月 12 日がキックオフとなり予約を中心としたシンポジウム等を広げたいと考えている。もし本部の委員会に所属している方がいれば企画を検討するように促して欲しい。現在、小規模住宅等連携の環境系シンポジウムが 1 つ決まっていることと愛知建築士会の北支部が企画している建築コンクールが承認されている。その他、九州支部で何か 1 つ企画をすると聞いている。建築家大会ウィークでは 8 つほどのイベントをやりたいと考えているので、声掛けをお願いしたい。

#### ◎第 15 回建築コンクールについて

今年のテーマは「さよなら建築」。全国大会の「還る」とどのように関係しているかということ、さよならとは、リセットして新たな道を見つけようという意味を含んでおり、それを踏まえて建築の作品を募集。企画内容と全国大会と合っているということで実行会議にて承認されている。審査員として昨年同様 JIA の松山さん、ロングライフデザインの長岡さん、銭湯等の保存等をしている栗生さんがシンポジウムと公開審査。この建築コンクールは北支部のライブ配信のチームがあり、機材も揃っているため全国大会の web 配信チームとして声をかけているところ。二日間の見積もりが出たところで報告予定。（浅井）

## (2) 支部報告

### ① 支部役員会（5/31）

資料-4

- ・3 その他のところで岐阜ジュニア会員の近藤さん、静岡法人協力会の ABC 商会さんが退会。

### ② 入会届

#### 審議事項

- ・岐阜ジュニア会員河合さん、堀居さんが承認。

- ・2、3、4 についてはこの後出てくるが支部では承認。

（野々川）

### ③ 東海設計競技特別委員会 事業計画について

資料-5

- ・今年 of 設計競技の審査員について、審査委員長に椋山女学園大学の橋本先生、ゲスト審査員に東京芸大の中山先生、審査員に静岡芸術文化大の亀井先生、中部大の山口先生、センアーチの山口さん、JIA 愛知の吉元さんに決定。応募締め切りは 10 月 10 日。一次審査は 10 月 21 日、二次審査と表彰式と記念講演会（中山先生）は 12 月 2 日の予定。テーマは橋本先生より「超空想住宅へ」に決まり、募集をかけていく。本日情報公開予定。（間瀬）

#### 意見

- ・本部総務委員会としてはなるべく半数は JIA 会員にした方が良い。
- ・山口さんはぜひ会員にお誘いしたい。

### ④ 名古屋大学「まちとすまいの集い」後援名義使用許可依頼報告

資料-6

- ・今年もイベントを開催するにあたり JIA に後援をお願いしたい。今年が 25 回目、名古屋大学建築学科が創設 60 周年ということもあり記念的の事業と合わせて 11 月 4 日に名古屋大学東山キャンパスにて開催予定。シンポジウムについてはこれまでも JIA に協力いただいているが、今年がキャンパス見学と名古屋大学建築学科 OB で建築界で活躍されている方々にお話しして

いただく企画を検討中。

( 恒川 )

- ・名古屋大学建築学科創設 60 周年記念事業の中での開催ということで「まちとすまいの集い」の後に記念事業として祝賀パーティーや交流会、記念誌の出版をするにあたり協賛広告をお願いするといったことがあるため、JIA 会員の方にもぜひご協力いただきたい。

⑤ ARCHITECT 2023 年 9 月号残暑広告について  
報告

資料-7

- ・例年通り、広告協賛依頼の許可をお願いしたい。

(3) 委員会、地区会、研究会報告

① 総務委員会

- ・6/12 に開催。

審議事項

- ・暑気払いについて 8/10 例年同様の形でラグナスイートにて開催予定。会費 6 千円、想定人数 70 名。例年通り書面にて開催のご案内をしたい。→承認 ( 間瀬、笹野 )

② 広報委員会

③ ブリテン委員会

- ・6/20 に開催予定

④ 研修委員会

⑤ 職能・資格制度委員会

- ・6/14 開催。林さんにご参加いただきスイスの建築家事情ということで情報共有させていただいた。

- ・8/10 に開催予定の会員委員会に向けて企画を練っている。

( 高木 )

⑥ 事業委員会

- ・6/1 開催。全国大会のエクスカージョンについてということで三重の森本さん、岐阜の内田さん、山田さん、静岡の石橋さん、浅井さん、柳沢さん、奥野さんにご参加いただき、各地域会から候補を上げていただくということで来週あたりに第 2 回会議を開催予定。エクスカージョンを中心として話し合いを進める。
- ・事業委員会の年間スケジュールの確認をした。( 黒野 )

⑦ 建築相談委員会

- ・相談案件については総会以降 2 件。

・弁護士会との意見交換会を 8 月に開催予定。人数によってはこの会議室を使用希望、相談委員会以外でも興味があれば参加していただきたい。士会と JIA、事務所協会がそれぞれ住宅紛争審査会に参加しているが、弁護士会の方で相談的な案件がどのように進んでいるか我々建築側から派遣されている専門委員は分かるが、それぞれの建築側の会がどのように相談を受けて進めているのかといったことを弁護士会の方がお聞きになりたいというのが目的。

( 柳澤 )

⑧ JIA 愛知・大学特別委員会

⑨ 住宅研究会

- ・建築家カタログの出版企画を練ってきている。外部の方に入ってきていただき、こういった形がいいのかを協議し、改めて出版ではなく違う形で進めるといった内容で詳細を詰めている。書籍と合わせ他の企画と連動して動けないかということも含め、もう少し違った活用方法があるのではないかという意見も出てきているので、有効に次に繋がるものが出せるように検討をしている。

- ・浅井さんより依頼のあった全国大会のエクスカージョンについても検討中。

( 石川 )

⑩ 保存研究会

- ・保存研究会で発刊している保存情報を全国大会の前に発刊できるよう、保存情報 4 の編集を始めるところ。コロナ禍で共に活動ができていなかった中でなんとか発刊したいと考えている。ネタについては、これまで 100 物件ずつ紹介してきたが、現在 150 を超える物件のストックがあるため、その中から編集を行っていく。

( 澤村 )

質疑

- ・中澤さんが忙しく身動きが取れないようで、保存情報そのものを毎回誰が担当して何を出すのかということが滞っている状況なので抜本的な見直しが必要なのではないかと、といった話がブリテン委員会の方でも話題になっている。Architectの方にどのように載せていくのかということ保存委員会の方で何か議論はしていないか？→これまでは5-6月に総会を開催し年間あるいはその先の取材等割り当てを常に把握していたが、現在はイズミさん任せになっているところがある。先のことも含め、割り当てを整理し事前に保存委員会の中で周知するような対策を取りたいと思っている。
- ・保存委員会へ執筆依頼がいくと毎回イズミさんへお怒りの話が出るようなので、再構成をしていただきたい。→前もって会員が把握できるように進めていきたいと考えている。

⑪ 行政 WG

資料—8

- ・6/5 開催、コンペの選定委員の先生方にご参加いただき JIA メンバーと情報共有し、一次審査をどのように進めるのかという詳細について詰めた。二次審査のプレゼン方法や時間配分についても決めた。明日が一次審査という一つの山場を迎える中で力のある作品も多く楽しみにしている。結果については Architect 誌でも発表されることになっている。 (澤村)

⑫ 地区連絡会

⑬ 建築家+特別委員会

- ・各特集頁の初稿が届いているためそれぞれの担当者がチェック中。 (上原)

⑭ JIA 愛知・賛助会

- ・5/26 賛助会総会を開催、起案については承認された。オブザーバーで我々の活動に関わりのある正会員の皆様にご参加いただきありがとうございます。また、西村さんには常滑の全国大会の概要を総会で説明いただき、賛助会としては全国大会の成功に向けて全面的に協力する方針となった。
- ・6/14 第一回役員会開催、企業展示ブースについて議論した。今後全国大会に向けての議論が続くと思う (小玉)

3. 審議事項

① 「おかざき木づかい塾 2023」の参加者声かけ ちらし協力記載について

資料—9

- ・天使の森の活動の一環であるが、天使の森も山頂から降りてきた山間部の活動も進み、森会長、吉本様、半田の山本様が参加している。その中で毎年勉強会を開催。参加者を募るために JIA 愛知にご協力の要請があり。協力依頼書は準備中。8/17 開催にあたり月末からチラシ配布をしたい。また、ちらしに協力欄に JIA の名前を載せさせていただきたい。勉強会は年に 5 回(8/17-12-1)開催する予定。主催が岡崎市株式会社もりまち(株主に岡崎市が入っている)ので岡崎市が関わっている会社)が主催。申込期限は 7/7。名古屋大学の山崎先生も第 3 回目に登壇。天使の森の NPO 法人アースワーカーエナジー小原氏も参加予定。今年から始めて来年以降も続けていく。

協力願いとすることで書面を残しておいた方が良い。掲載する法人名は正式名称で統一する方が良い。JIA を筆頭に記載してもらうようにする(積極的参加が必要になるが)⇒承認(西村)

◎入会申し込みについて

- ・正会員山田さん(41歳)、父上が JIA 正会員。本人は卒業後設計事務所では何年か働いたのち、父上の会社で 10 年、このたび代表に就任されたのを機に JIA へ入会希望。最近の JIA 活動等についてオンラインで説明済み。⇒承認 (高木)

◎2023 年度愛知地域会運営協力支援のお願い

- ・愛知の収入がほとんど賛助会会費収入と名簿広告収入が占めている。その中で会員が負担する割合をふやしていかなければならない。昨年は若干増加、さらに協力していただきたい。⇒承認 (森)

4. 協議事項

① 全国大会 2023 年度について

- ・暫定的にだが全体のスケジュールが見えてきた。これをもとに昨日本部へ資料を流し、各支部にミニシンポジウムへの参加募集のエントリーを手配した。返事が出てくるとこの赤枠に参加していただくように募集をかけているので、この辺りが変動してくることになる。まず 11/9 午前に街

歩き、13時より西尾コンペのシンポジウムを2時間程度予定、並行して13時半からあかりコンペを3時間予定。ここから街歩きその他イベントがあり、18時半から20時半にかけてウェルカムパーティー。11/10午前は小会議とミニシンポジウム募集中、13時より大会式典（常滑市民文化会館）、14時から3時間の講演（常滑市民文化会館）を予定。終了後はレセプション会場へ移動し、18時半から20時半までレセプション開催。

- ・近況報告としては賛助会と会場や時間帯、展示方法を検討しており、近々に現地確認をする予定。
- ・講演が詰まっていないため、明日明後日、浅井さんと高山へ行き、メイン登壇者である井上さんにお会いしてくる。
- ・宮坂さんに作成していただいている、大会のイメージPVをYouTube配信の準備ができています。
- ・Architectに浅井さんの寄稿が載っている。（西村）
- ・会場である市民文化会館、陶磁器会館、旧丸利、青木製陶所が焼き物の散歩道の中に入っている。丸利について、7月にくるシアスターゲイツがこの期間に工事を始めたいと言っているため一旦白紙。浅井さんが交渉を続けている。
- ・シャトルバスを出す予定（常滑駅、市民文化会館、ライブミュージアム、陶芸研究所、陶磁器会館）。駐車場所の調整中。シャトルバスの運行状況を検討している、ウェルカムパーティー直前には会場へ直行できるように修正するなど。その他、INAXなどへの運行も計画中。ご意見を聞きながら修正をしていく。8月中旬に登録目標、大会登録、エクスカーション、ホテル、弁当の登録ができるよう準備を進めている。
- ・初日の山車引きについて、海外からのお客様（国際委員会）は疲れているため、初日は法被だけ借りて写真撮影のみとの報告があった。国内の皆さんにはいい機会なのでぜひ参加していただきたい。17時からは小会議等や企画は入れないようにし、全員が山車蔵に集合できるようなスケジュールにしていきたい。国際委員会のみ不参加という状況になるかもしれない。
- ・二日目の大会式典終了後、国際委員会は豊田市美術館へバスで行かれる。こちらのシンポジウムには興味がないのか？バスは自分たちで手配するとのこと。レセプションまでに帰ってくるのか？二次会は自分たちのホテルでやるから良いとのこと。気を使うべきところは配慮せねばならないと思うが、詳細はまたお知らせする。（関口）
- ・協賛金の件  
大会を開催するには多額の資金が必要。JIAには潤沢な資金がないため法人協力会さんからも多大な協力をいただけることになっているが資金集めが必要。企業向けに皆さんが御中のところに記名し、企業をお願いをしていただく。大会概要と講演等予定が入ったりしている。申し込みについては、事務局へファックスあるいはメールするようお願いしていただく。原稿等については改めて事務局より請求書とデータの内容について記載したものをお送りする。会員各位についても同様。A4版で大会プログラムを含めた冊子を作成し、そこに広告を掲載する。価格帯によって大きさはそれぞれあり、HPも立ち上げるためそこにも広告を載せる。700万円ほどの資金を集めないと赤字になるため本日より7月末までにご協力お願いしたい。
- ・ミニシンポジウム、小会議のエントリーに関して、締め切りが7/15のため早めに動いて欲しい。会場についてはこちらで選定するという条件になっている。

## ② 建築八団体連絡会議 名古屋市との懇談会について

資料-15

### 報告

- ・6/5開催。来年度から会費が6千円から8千円に変更。協議のところで名古屋市幹部との懇談会が8/7に開催予定。毎年恒例だがJIA会員でもある建築家協会の篠原さんが尽力されて今回は幹部というより河村市長を呼ぼうという話になり、河村市長と建築局の方も同席が参加されることとなった。八団体各団体の概要を名古屋市に提出するにあたり建築家協会としては他会との違いを強調、専業で設計監理を行う個人の建築家で構成される団体ということと、利害関係のない公正中立の立場で職の理念に基づいてやっているというところを強調して伝えている。全ての取り組みは書ききれないが河村市長は教育ということに関しては力を入れているという情報もあり、猪高小学校のワークショップと名古屋市立大学の出前授業を記載させていただいている。懇談会のテーマの案として1と2は市長からの話をいただこうと思っている。1は人口減少時代の歴史、まちづくりということで、こちらから振る形になる。2は子供の教育

に対しての政策のような質問。3以降はこちらからのテーマを出すことになるが、例年3つほど八団体から出している。(3)の設計業務の発注方式については、吉元さんが会長の頃から継続的にお伝えしている内容。その効果があったのだが、入札からプロポーザル方式への移行は徐々にそういった流れに向かいつつあるということは実感としてある。問題点として実績のハードルがあり若い人や新しい人がなかなか参入できないことがあった。若手や地元設計者が参加できる小規模案件の公募型コンペをすることで人材育成と循環が生まれ、また発注側の人手不足や能力の限界があれば我々のような公正中立な専門家の団体がサポートするというところをお伝えできればと考えている。若い方向けアンダー40の横浜根岸森林公園のトイレ設計コンペ。広島学生チャレンジコンペがあるが、広島では10年前からこういった取り組みがあり公衆トイレや交番、公立高校の小さな体育施設等、毎年チャレンジコンペがあり、建設されている。蒲郡の報告もあるが、こういったことを市長や市の幹部の方にお伝えできればと思っている。(森)

#### 意見

- ・私も河村市長に直接こういった話をしている。広島コンペに関しても話したことがあるが、具体的な案件を持ちかけないと話に乗ってこないで流されてしまう。蒲郡ではすでに行われているなど、近隣の話をした方が良く思う。(恒川)

#### 5. 専決事項（後援名義・広告掲載・協賛など）

- ① 愛知ゆとりある住まい推進協議会 年会費（森） 資料-11
  - ・金額6万円の協賛をさせていただく。
- ② 愛知県建築物地震対策推進協議会 年間負担金（森） 資料-12
  - ・5万4千円で進めさせていただく。

#### 6. その他報告

- ① 愛知県住宅関連産業協議会総会(6/7)(野々川) 資料-14
  - ・4年ぶりに住宅センターより案内があり出席した。主に愛知県と連携して住宅供給や材料などを製作する団体。会員はトヨタ自動車グループと地元企業で、立ち上げは豊田章一郎氏、大村知事や愛知県建築局と繋がりが濃いようだ。JIAは関連性は薄い住宅地の開発など助言できるかもしれないという印象だった。
- ② 蒲郡市学生コンペについて(恒川) 資料-16
  - 全国から370の作品応募があり、蒲郡の会場にプレゼンしに来た方が240組、500名以上。市長もいらして一人1分のプレゼンテーションを聞いたので大変だったが有意義だった。6案を選定し、6/25に公開二時審査を西浦公民館で行う予定。審査員である伊藤さんによる実施設計のサポートを受け、今年度中に実際に建物が建つ予定。PRになると良い。

#### ③その他

- ・広報物に全国大会のお知らせを出してはどうか
- ・全国大会のイベントとしてからくりの山車をPRしていただきたい。機械仕掛けではないが操り人形のようなもので興味深い。雨天時は山車は中止だが3番叟はやっていただける。神聖なものであり保管場所にも人が常に必要。(尾関)

#### 7. 監査意見

- ・今回のArchitectの残暑広告、愛知地域会運営協力費、全国大会については協賛広告に主力を置いたいただきたい。大変だが協力お願いしたい。
- ・運営協力金については愛知地域会の伝統でこれのおかげで地域会費、支部会費を徴収していないのは北陸と東海だけ。今回の協力資金集めは大変な部分があるが協力していただきたい。(水野)
- ・新年度第一回全国大会に向けて詰めていかねばならず、その動きを加速していく必要がある。水野さんから費用面の話があったが、財務委員長の身としては全国大会における突出した収支を賄うには協賛金、大会参加費が大変大きい。まずは協賛金を頑張らねばならない。愛知の独特な運営協力金の集金システムが個人の正会員からではなく、所属会社から徴収するシステムを維持していきたい。新

資格制度に対して8/10に支部で会員集会があるため注目していきたい。(鈴木)

次回役員会 2023年7月14日(金) 17:00~19:00 (JIA 東海支部事務局 会議室・WEB 会議併用)  
次回議事録担当委員会：保存研究会

議事録作成 石川英樹  
議事録署名人 間瀬高歩  
議事録署名人 笹野直之